



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	日本体育大学 横浜・健志台キャンパス 再開発整備(アカデミックコア棟)	階数	地上7F、地下0階
建設地	神奈川県横浜市青葉区鴨志田町町山1214番地、他	構造	RC造
用途地域	第一種中高層、第二種中高層、準防火地域	平均居住人員	0人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	学校	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2025年1月 予定	評価の実施日	2023年5月18日
敷地面積	3,617 m ²	作成者	株式会社 久米設計 鈴木章浩
建築面積	2,027 m ²	確認日	2023年5月24日
延床面積	13,343 m ²	確認者	株式会社 久米設計 鈴木章浩



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.2

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.5

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.1

LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.8

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	敷地内を積極的に緑化、省エネ機器を積極的に採用し、環境負荷の低減を図るとともに、建物の維持管理にも配慮した計画としている。	
その他		
Q1 室内環境	LowEガラスを採用するなどして外皮性能を確保、教室、研究室にはブラインド設置を計画することで、室内環境を快適に過ごせるよう考慮している。	Q2 サービス性能
Q2 サービス性能	長期に建物を使用するにあたり、維持管理に配慮した計画、階高の確保等により建物の機能性を高めている。	Q3 室外環境(敷地内)
Q3 室外環境(敷地内)	屋上緑化を行い敷地内を積極的に緑化、暑熱環境に配慮している。	LR1 エネルギー
LR1 エネルギー	LED照明などの高効率な設備機器、制御を取り入れ、エネルギー消費の低減に努めた。	LR2 資源・マテリアル
LR2 資源・マテリアル	リサイクル建材を導入し、省資源に取り組んでいる。	LR3 敷地外環境
LR3 敷地外環境	屋外照明の計画は、周囲への光害対策に配慮している。また、駐車駐輪に考慮し敷地内に十分なスペースを設け、利用者の利便性向上に努めている。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 ■LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい



4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <非住宅>					
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。	建物名称 日本体育大学 横浜・健志台キャンパス 再開発整備(アカデミック・コア棟)				
建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving	重点項目への取組(5点満点) 【省エネルギー性能】 3				
<p>■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)</p> <p>この建物の設計一次エネルギー消費量 26 %削減</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="width: 100px; height: 20px; background: linear-gradient(to right, green, yellow, red); position: relative;"> <div style="position: absolute; left: 0; top: 50%; transform: translateY(-50%);">少ない</div> <div style="position: absolute; right: 0; top: 50%; transform: translateY(-50%);">多い</div> </div> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>一次エネルギー消費量基準</td> <td>適合</td> </tr> <tr> <td>外皮基準</td> <td>対象外</td> </tr> </table> </div> <p>0 ▲ ▲ ▲</p> <p style="text-align: center;">誘導基準</p> <p>■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)</p> <p>①建物において最良の日射遮蔽性能、断熱性能を有している</p> <p>②昼光利用として、建物内部に光庭を計画</p> <p>③BEIが基準値を満たしている</p> <p>④エネルギー消費量目標を設定、建築主へ報告している</p>		一次エネルギー消費量基準	適合	外皮基準	対象外
一次エネルギー消費量基準	適合				
外皮基準	対象外				
健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community	重点項目への取組(5点満点) 【快適・働きやすさ】 3				
<p>■室内環境対策 (⑨温熱環境対策 ⑩光環境 ⑪空気質環境)</p> <p>⑨室内への熱の侵入に対して、最良の日射遮蔽性能、断熱性能を有し、湿度制御により快適性向上に配慮している</p> <p>⑪F☆☆☆☆建材の採用、CO2濃度の管理、校内は禁煙とする</p> <p>■機能性対策 (⑫機能性 ⑬知的生産性向上の取組)</p> <p>⑫建築物移動円滑化基準を満たす</p> <p>■室外環境(敷地内)対策 (⑭敷地内温熱環境の向上)</p>					
防災への配慮 (R) Resilience	重点項目への取組(5点満点) 【防災】 4				
<p>■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)</p> <p>⑮重要度係数1.25、耐震クラスA以上</p> <p>⑰ダクト、配管において、耐用年数の長い材料を採用</p>					
地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape	重点項目への取組(5点満点) 【地域・まちづくり】 3				
<p>■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)</p> <p>⑳図書館、食堂、コンビニエリアの地域への開放、およびベンチや植栽などの計画を行い、利用者の憩いの場となるよう配慮した</p>					
太陽光発電などの導入	環境配慮技術の導入 (太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)				
太陽光利用	木材利用				
エネルギーマネジメントシステム導入					
— —					



CASBEE横浜2022年版v.1.1

日本体育大学 横浜・横浜台キャンパス 再開発整備 (アカデミック・コア棟)

バージョン CASBEE横浜2022年版v.1.1

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質									3.2	
Q1 室内環境									3.1	
1 音環境				2.8	0.15	-	-	-	2.8	
1.1 騒音				3.0	0.40	-	-	-	-	
1.2 遮音				2.6	0.40	-	-	-	-	
1.2.1 開口部遮音性能				3.0	0.30	-	-	-	-	
1.2.2 界壁遮音性能				3.0	0.30	-	-	-	-	
1.2.3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				1.0	0.20	-	-	-	-	
1.2.4 界床遮音性能(重量衝撃源)				3.0	0.20	-	-	-	-	
1.3 吸音				3.0	0.20	-	-	-	-	
2 温熱環境				3.2	0.35	-	-	-	3.2	
2.1 室温制御				2.6	0.50	-	-	-	-	
2.1.1 室温	快適・働きやすさ		⑨温熱環境	3.0	0.60	-	-	-	-	
2.1.2 外皮性能	快適・働きやすさ	健康・安心	⑨温熱環境 ⑤外皮性能	2.0	0.40	-	-	-	-	
2.1.3 ソーン別制御性	快適・働きやすさ		⑨温熱環境	-	-	-	-	-	-	
2.2 湿度制御	快適・働きやすさ		⑨温熱環境	5.0	0.20	-	-	-	-	
2.3 空調方式	快適・働きやすさ		⑨温熱環境	3.0	0.30	-	-	-	-	
3 光・視環境				2.6	0.25	-	-	-	2.6	
3.1 昼光利用				1.8	0.30	-	-	-	-	
3.1.1 昼光率	快適・働きやすさ		⑩光環境	1.0	0.60	-	-	-	-	
3.1.2 方位別開口	快適・働きやすさ		⑩光環境	-	-	-	-	-	-	
3.1.3 昼光利用設備	快適・働きやすさ		⑩光環境	3.0	0.40	-	-	-	-	
3.2 グレア対策				3.0	0.30	-	-	-	-	
3.2.1 昼光制御	快適・働きやすさ		⑩光環境	3.0	1.00	-	-	-	-	
3.3 照度	快適・働きやすさ		⑩光環境	3.0	0.15	-	-	-	-	
3.4 照明制御	快適・働きやすさ		⑩光環境	3.0	0.25	-	-	-	-	
4 空気質環境				3.8	0.25	-	-	-	3.8	
4.1 発生源対策				4.0	0.50	-	-	-	-	
4.1.1 化学汚染物質	快適・働きやすさ		⑪空気質環境	4.0	1.00	-	-	-	-	
4.2 換気				3.3	0.30	-	-	-	-	
4.2.1 換気量	快適・働きやすさ		⑪空気質環境	4.0	0.33	-	-	-	-	
4.2.2 自然換気性能	快適・働きやすさ		⑪空気質環境	3.0	0.33	-	-	-	-	
4.2.3 取り入れ外気への配慮	快適・働きやすさ		⑪空気質環境	3.0	0.33	-	-	-	-	
4.3 運用管理				4.0	0.20	-	-	-	-	
4.3.1 CO ₂ の監視	快適・働きやすさ		⑪空気質環境	5.0	0.50	-	-	-	-	
4.3.2 喫煙の制御	快適・働きやすさ		⑪空気質環境	3.0	0.50	-	-	-	-	
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-	-	3.5	
1 機能性				3.2	0.40	-	-	-	3.2	
1.1 機能性・使いやすさ				4.0	0.40	-	-	-	-	
1.1.1 広さ・収納性	快適・働きやすさ		⑫機能性	-	-	-	-	-	-	
1.1.2 高度情報通信設備対応	快適・働きやすさ		⑫機能性	-	-	-	-	-	-	
1.1.3 バリアフリー計画	快適・働きやすさ		⑫機能性	4.0	1.00	-	-	-	-	
1.2 心理性・快適性				2.0	0.30	-	-	-	-	
1.2.1 広さ感・景観	快適・働きやすさ		⑫機能性	3.0	0.50	-	-	-	-	
1.2.2 リフレッシュスペース	快適・働きやすさ		⑫機能性	-	-	1.0	-	-	-	
1.2.3 内装計画	快適・働きやすさ		⑫機能性	1.0	0.50	-	-	-	-	
1.3 維持管理				3.5	0.30	-	-	-	-	
1.3.1 維持管理に配慮した設計	快適・働きやすさ		⑫機能性	4.0	0.50	-	-	-	-	
1.3.2 維持管理用機能の確保	快適・働きやすさ		⑫機能性	3.0	0.50	-	-	-	-	
2 耐用性・信頼性				3.5	0.30	-	-	-	3.5	
2.1 耐震・免震				3.8	0.50	-	-	-	-	
2.1.1 耐震性	防災		⑬耐震・免震	4.0	0.80	-	-	-	-	
2.1.2 免震・制振性能	防災		⑬耐震・免震	3.0	0.20	-	-	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数				3.3	0.30	-	-	-	-	
2.2.1 躯体材料の耐用年数	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	-	-	-	-	-	-	
2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	2.0	0.25	-	-	-	-	
2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.13	-	-	-	-	
2.2.4 空調換気ダクトの更新必要間隔	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	4.0	0.13	-	-	-	-	
2.2.5 空調・給排水配管の更新必要間隔	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	5.0	0.25	-	-	-	-	
2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.25	-	-	-	-	
2.4 信頼性				3.0	0.20	-	-	-	-	
2.4.1 空調・換気設備	防災		⑯信頼性	1.0	0.20	-	-	-	-	
2.4.2 給排水・衛生設備	防災		⑯信頼性	2.0	0.20	-	-	-	-	
2.4.3 電気設備	防災		⑯信頼性	4.0	0.20	-	-	-	-	
2.4.4 機械・配管支持方法	防災		⑯信頼性	4.0	0.20	-	-	-	-	
2.4.5 通信・情報設備	防災		⑯信頼性	4.0	0.20	-	-	-	-	
3 対応性・更新性				3.9	0.30	-	-	-	3.9	
3.1 空間のゆとり				4.6	0.30	-	-	-	-	
3.1.1 階高のゆとり				5.0	0.60	-	-	-	-	
3.1.2 空間の形状・自由さ				4.0	0.40	-	-	-	-	
3.2 荷重のゆとり				4.0	0.30	-	-	-	-	
3.3 設備の更新性				3.4	0.40	-	-	-	-	
3.3.1 空調配管の更新性				3.0	0.20	-	-	-	-	
3.3.2 給排水管の更新性				3.0	0.20	-	-	-	-	
3.3.3 電気配線の更新性				5.0	0.10	-	-	-	-	
3.3.4 通信配線の更新性				5.0	0.10	-	-	-	-	
3.3.5 設備機器の更新性				3.0	0.20	-	-	-	-	
3.3.6 バックアップスペースの確保				3.0	0.20	-	-	-	-	



CASBEE横浜2022年版v.1.1

日本体育大学 横浜・健志台キャンパス 再開発整備 (アカデミック・コア棟)

バージョン CASBEE横浜2022年版v.1.1

スコアシート		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q3 室外環境(敷地内)								
1 生物環境の保全と創出	地域・まちづくり	⑩生物環境の保全と創出		3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮	地域・まちづくり	⑨まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮								
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	地域・まちづくり	⑫地域性への配慮		4.0	0.50	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上	快適・働きやすさ	⑭敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性								
LR1 エネルギー								
1 建物外皮の熱負荷抑制								
4.1 モニタリング	省エネルギー性能	①建物の熱負荷抑制		5.0	0.20	-	-	5.0
4.2 運用管理体制	省エネルギー性能	②自然エネルギー利用		3.0	0.10	-	-	3.0
2 自然エネルギー利用								
3 設備システムの高効率化	省エネルギー性能	③設備システムの高効率化		3.6	0.50	-	-	3.6
4 効率的運用								
集合住宅以外の評価				3.5	1.00	-	-	-
4.1 モニタリング	省エネルギー性能	④効率的運用		3.0	0.50	-	-	-
4.2 運用管理体制	省エネルギー性能	④効率的運用		4.0	0.50	-	-	-
集合住宅の評価				-	-	-	-	-
4.1 モニタリング	省エネルギー性能	④効率的運用		-	-	-	-	-
4.2 運用管理体制	省エネルギー性能	④効率的運用		-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル								
1 水資源保護								
1.1 節水				3.0	0.20	-	-	3.0
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-	-
1	雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-	-
2	雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減								
2.1 材料使用量の削減				2.0	0.10	-	-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.20	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				3.0	0.20	-	-	-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				5.0	0.20	-	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材				3.0	0.10	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み				5.0	0.20	-	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避								
3.1 有害物質を含まない材料の使用				4.0	0.20	-	-	4.0
3.2 フロン・ハロンの回避				4.0	0.30	-	-	-
1	消火剤			4.0	0.33	-	-	-
2	発泡剤(断熱材等)			5.0	0.33	-	-	-
3	冷媒			3.0	0.33	-	-	-
LR3 敷地外環境								
1 地球温暖化への配慮				3.6	0.33	-	-	3.6
2 地域環境への配慮								
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25	-	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善				2.0	0.50	-	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制				3.0	0.25	-	-	-
1	雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-	-
2	汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	-
3	交通負荷抑制			5.0	0.25	-	-	-
4	廃棄物処理負荷抑制			1.0	0.25	-	-	-
3 周辺環境への配慮								
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.1	0.33	-	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-	-
1	騒音			3.0	1.00	-	-	-
2	振動			-	-	-	-	-
3	悪臭			-	-	-	-	-
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.40	-	-	-
1	風害の抑制			3.0	0.70	-	-	-
2	砂塵の抑制			1.0	-	-	-	-
3	日照障害の抑制			3.0	0.30	-	-	-
3.3 光害の抑制				3.7	0.20	-	-	-
1	屋外照明及び室内照明のうち外に漏れる光への対策			4.0	0.70	-	-	-
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	-
上記以外の重点項目								
<事務所用途>								
知的生産性向上への取組		快適・働きやすさ	⑬知的生産性向上への取組	1.0	-	-	-	-
<住宅用途>								
健康と安心								
1	化学汚染物質の対策		健康・安心	⑥健康対策	-	-	-	-
2	適切な換気計画		健康・安心	⑥健康対策	-	-	-	-
3	結露・カビ対策		健康・安心	⑥健康対策	-	-	-	-
4	犯罪に備える(共用部の防犯対策)		健康・安心	⑦防犯対策	-	-	-	-